

## 「ゴッホ・アライブ東京展」

寺田倉庫 G1 ビル（天王洲アイル） 24. 01. 06～03. 31



本展は、真っ黒な広い展示室に設置された様々な大壁と床に大迫力の“ゴッホの作品”が投影される「新感覚の展覧会」で、まるで自分が作品に溶け込んでいくかのような感覚を五感で体験することができるのが特徴である。

創作したのは、オーストラリアの企画会社「グランデ・エクスペリエンセズ」で、最新技術のマルチチャンネル・モーショングラフィックスと映画館品質のサウンド音楽と高精細のプロジェクターを組み合わせたものである。

会場では、体を包むような迫力のクラシック音楽が流れる中、「ゴッホ作品3000以上の画像が壁や柱、床などあらゆる場所に、最大40台のプロジェクターで映し出されて実に圧巻」である。

館内は観賞順路を設けられず、新たな角度から作品の隅々に触れることができ、世界で最も有名な「ファンセント・ファン・ゴッホ」の生涯を称える。

本展は、これまで世界99都市を巡回し、世界で900万人を超える人々を魅了し、愛されてきた人気のコンテンツで、今回、「世界100都市目」となる東京に登場する「没入型展覧会」として注目され、オランダ、パリ、アルル、サン＝レミ、オーヴェール＝シュル・オワーズと生涯を巡る旅へ誘っている。

展示室は、全て写真・動画撮影が可能で、これまでになかった自分だけのゴッホを自前のカメラにおさめることができるために、観賞体験を十分楽しめ、「ゴッホ」の芸術、生涯、時代背景を新しい形で感じとることができる、まことにユニークな展覧会の開催である。